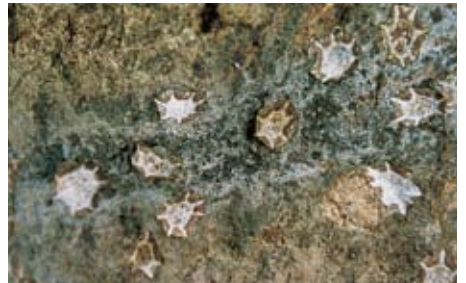




↑オオアカフジツボ。蔓脚を広げ懸濁物やプランクトンの餌捕りに忙しい。小さくとも海の浄化に大いに役立っている



↑ベリルイソギンチャク。潮が引いている時は身を閉じ、干からびるのを防いでいるが、潮が差してくると体全体を広げ、餌捕りの準備を始める



↑猿島の岩礁に張り付いた巻貝のウノアシ。内湾にあっても潮通しがよいので外洋系の生物相が形成されている。潮間帯の生き物によって環境を知ることができる一例



↑逃げ遅れたハオコゼの成魚